

Kurilon Workshop News

No.
46

クリロンワークショップ便り
No.46 2023年11月



... information ...



アートスペース 画空間 の 展覧会情報

蔡國華作品展
水彩之旅
CAI GUO-HUA
WATERCOLOR WORKS

2023.11.13(月) ~21(火)
12:00~18:00
(最終日16:00まで・日曜休み)

クリロンワークショップ 画空間
東京都中央区銀座 2-11-18 小林ビル3F
Tel. 03-3546-3377



表紙：蔡國華

デザイン：加藤麻依子（クリロンワークショップ）

kurilon
クリロン化成株式会社
kurilon.co.jp



KURILON Work Shop
心が響かであるために...
kurilon.co.jp/management/communication



画空間
Art Space
a-kukan.com



My空間
Studio
a-kukan.com/mykukan



伊久米
クリロンワークショップ
kurilon-ws.com/ikumi



第24回 緑風会を終えて

当社では、勤続年数や職制別にいくつかの研修会があり、部署を越えて、普段接する機会の少ないメンバーと交流が図られています。

「緑風会」は入社4年未満の社員が所属する親睦研修会で、毎年行われ、今年も24回目です。

2020年よりコロナの感染拡大から、リモートで開催していましたが、今年は4年ぶりに1泊2日で研修を実施しました。研修内容は、緑風会メンバーで実行委員会を結成し、自分達で考え企画し、運営しています。



今年の緑風会のテーマは、「コミュニケーション」相手に正しく伝える・相手の意図を理解するための工夫を考える」を掲げ、全体を10グループに分けて、ゲームやロールプレイングを通じてディスカッションを行いました。

研修を通して、相手に正しく伝えることの難しさや相手に伝わる言葉の選び方など、普段なかなか意識できていないことを改めて、考える良い機会になりました。

ディスカッションでは、各グループの議論が活発に行われ、内容をまとめ、グループ毎に発表を行いました。自身の業務と関連つけたグループや、各人の当たり前に着目した問題を出すグループ等、それぞれ趣向を凝らし、テーマを意識した発表となり、有意義な時間であったと感じました。

緑風会の研修を通して、個人がコミュニケーションについて深く考え、ディスカッションやグループ発表で学んだ「受け手に合わせて話す内容を工夫すること、相手が話しやすい空気を作ること」を業務の場でも意識していきたいと思っています。

緑風会実行委員

会長講話

「コミュニケーションにおいて若手社員に求めること」

今回の緑風会のテーマである「コミュニケーション」において、栗原清一会長から若手社員に求める姿勢について講話がありました。

若手社員でも躊躇せず、率直に考えを発信することの重要性や、仕事における人間関係は共通の目的を達成する中で深まるといった話があり、胸に落ちる内容でした。

質疑応答では、「大人数でのコミュニケーション」は、どのような点に注意すればよいか」と質問があり、「発言する機会が少なくなるが、発言者のやり取りから、自分ならどう考えるか、どのように応えるか想像することで、自身の経験値とすることができるとアドバイスがありました。講話を通してコミュニケーションへの理解がさらに深まり、各人が得た気づきを部署に持ち帰り、今後の業務に存分に活かしていきたいと思っています。



クリロンワークショップ 伊久美 一周年を迎えて



地元の人と旅の人、年齢や価値観を超えて交流が生まれる場になればと伊久美がオープンして1年が経ちました。伊久美主催のギャラリーでの絵画展や写真展だけではなく、レンタル利用でのクリエイターが集まるイベントが数回開催され、おむすびランチで足を運んでくださる方も増え地元根ざし愛される建物として着実に周知の幅を広げて来ました。

また6月に開催したクリロンワークショップ(KWS)全体ミーティングでは普段は直接会うことのない本社の方やKWSメンバーの皆様にも伊久美館内や周囲の様子を知っていただけるいい機会だったように思います。今後も、諏訪出身の落語家による子ども向けワークショップや諏訪地域の酒蔵5蔵と行う日本酒の飲み比べ等を開催し、信州の魅力や様々な文化を発信できる場を作っていきたいと思っています。

クリロンワークショップ伊久美 川原千明

△蔡國華巡回展の動画



1 オープニングの夜 2 蔡國華巡回展 3 KWS全体ミーティングの様子 4 奥田祐也写真展 5 松風会ランチの準備の様子 6 日本酒の飲み比べの会

蔡國華作品展 @画空間

「若き日々」

7月1日から14日まで、銀座の画空間にて蔡國華氏の個展が3年ぶりの作家在廊のもと開催されました。

上海から日本に絵を学ぶためにきた頃の不安、心配、郷愁、希望など、若い蔡氏が思いのたけを表現した1990年代の力強い貴重な未発表作品をメインに、コロナ禍で日本を離れている間、作家の胸に去来した様々な心情を表現した新作を一堂に展示しました。

ご来場の方々は久しぶりの蔡氏との対面で会話も弾み、終始賑やかで和やかな会場でした。展覧会はこの後巡回展として8月22日から9月14日まで諏訪の姉妹空間、伊久美にて開催されました。

クリロンワークショップ 所由香



△展覧会の動画

HFF ヒューマン・フロンティア・フォーラム

HFFは、大学や行政、企業、NPOなどで先駆的な活動を進めている人達が集い、現代の様々な問題を論議して、各自の持ち場で活かすための合宿討論の場です。当社がサポートして毎年開催し、今年で19回目に達しました。開催地は昨年までは軽井沢でしたが、今年からクリロンワークショップ伊久美のある上諏訪に移しました。

伊久美での討論会、ホテル「RAKO華乃井」での金子ゆかり諏訪市長にも参加頂いた夕食会、夜三時頃まで続いた懇親会などを通して、30名余りの参加者の間で活発な議論がなされ、親睦も深まりました。

「地域まちづくり」が今年の統一テーマで、先ず「保育園留学」から始まりました。園児が2週間余り地方の保育園に通い、親もその地域に滞在するユニークな事業を営むキッチハイク代表山本雅也氏が北海道からリモート参加で話題提供をしました。二日目は「都市と地域のコミュニティ連携」について、東京丸の内のエコツヴェリア協会の田口真司氏の豊富な活動経験を踏まえた問題提起と、参加者が別れて分科会討論を持ちました。

次いで、日本家屋のリノベーションや古材リサイクルなどの事業を営む諏訪市在住のRebuilding Center JAPAN(リコセン)代表東野唯史氏が、地域に根ざした健やかで循環のある街づくりの活動を紹介しました。

三日目には参加者が諏訪への知識を深めるバスツアーも持たれ、二泊三日にわたった上諏訪でのHFFは成功裡に終了しました。

クリロン化成株式会社 取締役会長 栗原清一



My わくわくアトリエ
久々の開催となったわくわくアトリエで制作したのは、ハートや小鳥、お花が特徴的なスロバキアの伝統模様のエコバック。
スロバキアのお話も交えつつ、みんなで制作を楽しみ、それぞれの個性やこだわりが光る素敵な作品に仕上がりました。

クリロンワークショップ 小西 由夏